

企業主導型保育事業

-OhanaGroup-

(企業連携利用について)

企業主導型保育事業とは

事業の目的

様々な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、**仕事と子育てとの両立に資すること。**

要約

認可保育所に入る基準に満たない就労形態や就労時間の方も、保育サービスを利用することができるので、仕事と子育てを両立することができる！

企業主導型保育事業とは

特徴（企業側）

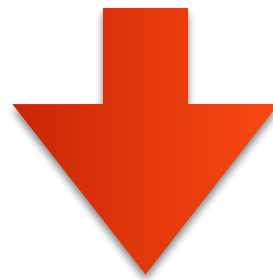
- ・ 保育園と企業が連携し、企業は保育園の利用枠を確保できる
- ・ 福利厚生として企業が保育料を一部または全部負担しても良い
- ・ 保育園の運営は、連携する企業に全て任せることができる

特徴（利用者側）

- ・ 保育園の利用に保護者が市町村の認定を受ける必要がない
- ・ 保育園の利用は、利用者と園が直接契約できる
- ・ 保護者が一人でも連携企業に勤めていれば園を利用できる （※要件あり）

企業の利用（連携）要件

子ども・子育て拠出金を負担している事業主



つまり・・・

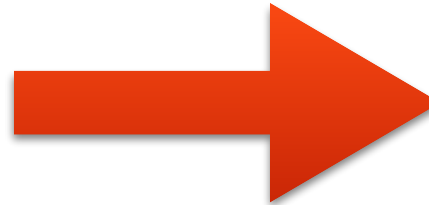
厚生年金の適用事業所等であれば該当します。

認可と企業主導型との違い

認可保育所利用の場合（通常利用時）



就労時間64時間未満

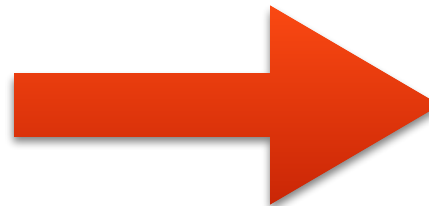


認定不可

保育園の利用はできない



就労時間64時間以上
120時間未満



保育短時間認定

就労状況によって最大8時間
保育園を利用できる



就労時間120時間以上



保育標準時間認定

就労状況によって最大11時間
保育園を利用できる

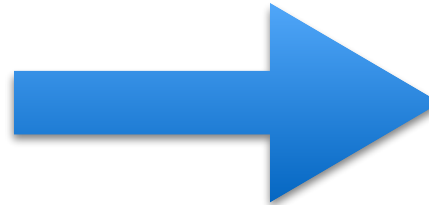
※就労時間以外にも認定の審査基準は多数あります。

認可と企業主導型との違い

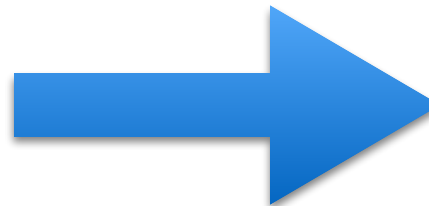
企業主導型利用の場合（通常利用時）



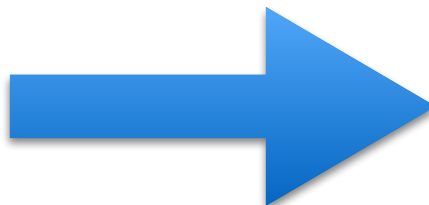
就労時間64時間未満



就労時間64時間以上
120時間未満



就労時間120時間以上



市町村の認定不要

保育園と直接契約するので、認定は不要！

利用時間は保育園と保護者の個別契約により**最大8:00から19:00まで利用可能！**

(※1)

※1 利用可能時間については、保育所保育指針の定めにより決定し、保育園から保護者へ利用決定通知をお渡しします

企業主導型保育事業の連携企業のメリット

①人材採用に有利

企業主導型保育事業で保育園と連携することで、働くママはもちろん、夫婦で就業先を検討する際に、夫の就業先に連携保育園があることで、なかなか入れない認可保育園に入ることなく、同じ水準の保育サービスを受けることができるため、奥様からの後押しに繋がる。

保育園連携あり企業



会社に連携保育園があるから
私も仕事することができるわ！
会社の福利厚生に保育料の一部負担も
あるんですって！（※1）
認可保育所よりもいいわ！

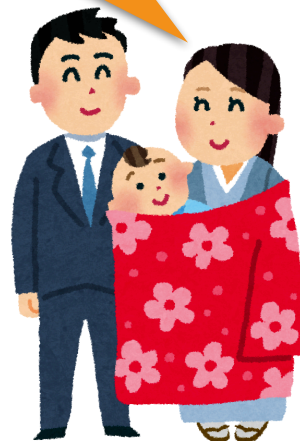
保育園連携なし企業



保育園はない会社なのね。
私も仕事したいんだけど、
なかなか保育園には
入れないし。

働きたい夫婦にとって嬉しい福利厚生のある会社

働きたい夫婦にとっては選びづらい会社



※1 保育料の負担は、会社が補助をしてもしなくてもどちらでもご利用いただけます。

企業主導型保育事業の連携企業のメリット

②連携に関わる費用は一切なし

企業主導型保育事業で保育園と連携するにあたり、企業が保育園に支払う費用は一切ありません。
ただし、従業員に対する福利厚生として、企業が保育料を保育園に支払うことは可能です。
保育料の企業負担を任意に設定し、企業独自サービスの付加価値にして頂くことも可能です。

保育園連携あり企業
保育料の会社負担あり



こっちの会社は、うちの子の
保育料まで負担してくれるんだって！
家計も助かるし、認可保育所よりも
この制度で入園した方がお得ね。
しかも、保育サービスの水準は
認可保育所並だ！

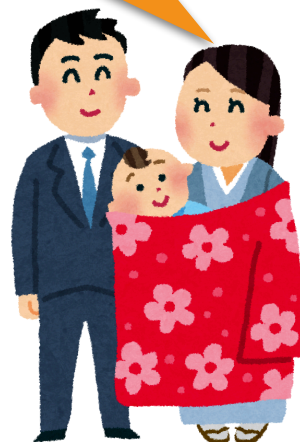
保育園連携あり企業
保育料は利用者負担



保育園があるのはいいけど、
保育料は自分で支払うから、
認可保育所と同じだね。

働きたい夫婦にとって嬉しい福利厚生のある会社

働きたい夫婦にとっては選びづらい会社



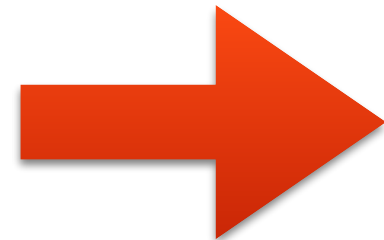
企業主導型保育事業の連携企業のメリット

③連携保育園に従業員の子供を優先的に入園できる枠を確保できる

企業主導型保育事業で保育園と連携することで、自社の従業員の子供を優先的に入園できる枠を確保することができる。（※1）

安定した従業員の確保と長期雇用を見込むことができる。

保育園連携あり企業



優先入園



MahaloStation

保育園連携なし企業



抽選入園



認可保育所の待機児童へ



抽選入園



※1 利用枠の数は、毎年変更になる可能性があります。保育園の安定運営上、複数企業との連携を行うため、タイミングによっては空き枠がない場合もございます。

OhanaGroupと連携するメリット

企業主導型保育事業は、企業が独自で設置・運営することができますが、なぜ、OhanaGroupと連携するのか？

- ①認可保育所を運営している
- ②企業主導型保育事業の運営している（平成29年より）
- ③保育事業のみを行なっている保育のプロフェッショナル
- ④地域に根付いた保育を目的として運営しているため
保育料が比較的安価である

企業主導型保育事業の利用者負担額

利用者負担額は、連携企業が福利厚生として負担いただいても、利用者が負担いただいても構いません。各企業にて独自に決定ください。保育料のお支払いは、直接、保育園にお支払いとなります。

年齢	MahaloStation 保育園利用料	認可保育所 利用料（相場）
4歳以上児	—	無償化
3歳児	—	無償化
1、2歳児	5,000円～	48,100円
0歳児	10,000円～	48,100円

※消費税を含んだ金額です。

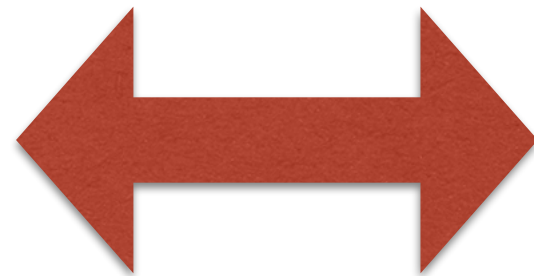
※（財）児童育成協会の利用者負担分を保育料に反映しておりますので、変動する場合がございます。

※認可保育所の利用料（相場）は、第11階層 202,000円以上235,000円未満（月給）で算出しております。

企業主導型保育事業の連携の利用契約方法



利用契約書の締結



契約書の取り交わしは初回のみで、2年目以降は解約がない限り自動更新となります。

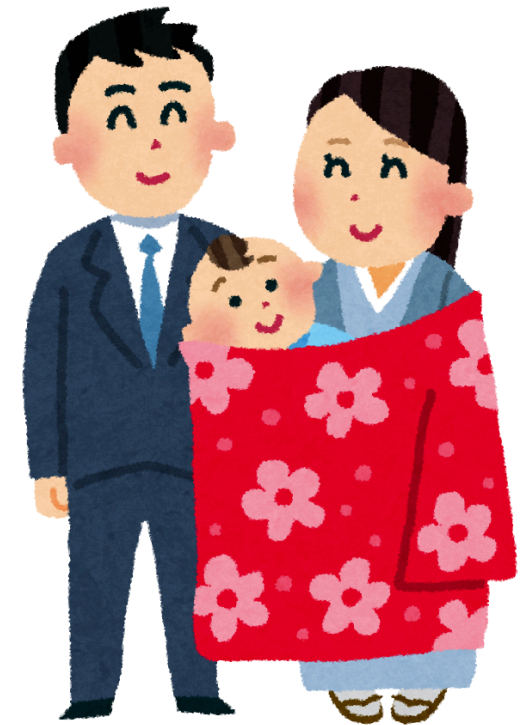
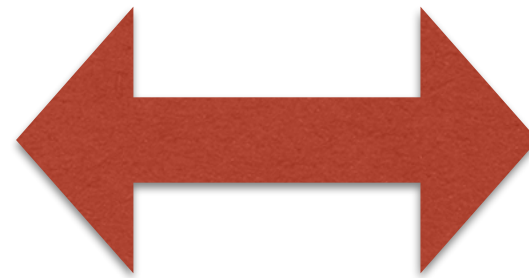
※利用枠については、随時変動がありますので、ご希望のタイミングに空き枠がない場合は入園をお断りせざるを得ない場合がございますので、ご利用される方がいる場合は、事前に当社までご連絡ください。

従業員の子育て支援施設利用方法



MahaloStation

個別契約書の締結



保護者

保育園の利用方法や利用時間、重要事項の説明を含め、個別に説明を行い
保護者との個別契約書を締結し、保育園の利用をご提供いたします。

まとめ

- 従業員の採用活動の強化を図れる
- 企業の費用負担なし（※福利厚生扱いでも可）
- 利用者と園が直接契約なので、手間が掛からない
- 企業は保育園との連携契約のみ

以上、是非とも保育園との連携契約をご検討ください。

ありがとうございました。

企業主導型保育事業

株式会社Ohana MahaloStation

<https://mahalo-station.jp/>